

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.3】今年もかわらず穏やかな春が来ることを願って

2024  
SPRING

Produce by KAZUMI

Kazuma Co., Ltd.  
105 Yaemaki-cho, Fukuji-City, Fukuji, 910-0123, JAPAN  
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007



## 作る人も使う人も、企業もお客様も、みんな「人」。 人と人は助け合い、支え合うことができる。

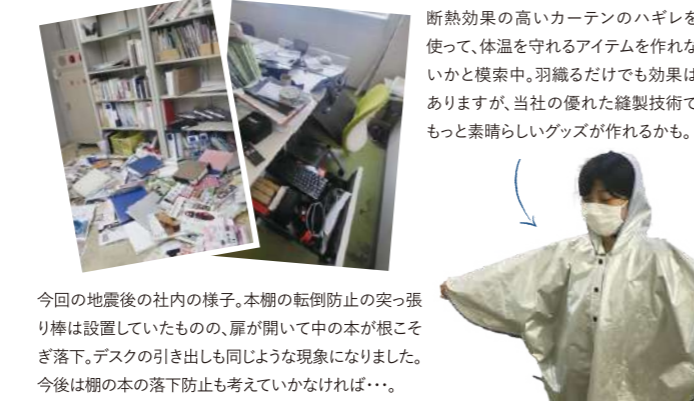
1月1日に発生した能登半島の地震で被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。今回の震災で改めて自然の脅威と命の尊さを考えさせられた今日、弊社は幸運にも物が倒れる程度の被害で済みましたが、深い心の傷を負われた石川県の皆さんの心情を考えると胸が締め付けられる思いです。一方で、この震災で気づいたことも多くありました。人は無条件で人を助け、支え合って生きているということ。そして絆はつくるものでなく、生まれるものなのだという

ことです。会ったこともない見知らぬ人も困っていたら助けたい、頑張っているなら応援したい、そんな感情は何も特別なことではなく、そうやって思い合うことが結果として人の絆になっていくのです。私たちが作っているものも、挑戦しているものも、誰も気づかない小さなことかもしれないけれど、いつか誰かの幸せにつながると思いたい。昨日より今日、今日より明日、1歩1歩できることから前へ進み、これからも全力で挑戦を続けたいと思います。

## MOVE

### 社員の命を社員の手で守るために 災害への備えをさらに見直しました！

今回の震災で感じたのは、水がないことの不自由さと北陸の寒さに耐えられる備えの大切さ。これまでも会社で備蓄していた日用品や防災グッズに加え、さらにトイレや防寒対策になりそうなものを補強することになりました。管理部の野津さんを中心にリストアップしたのは、生理用品、大人のおむつ、簡易トイレ、毛布など約10種類、300人の社員が数日暮らせるレベルの量には



断熱効果の高いカーテンのハギレを使って、体温を温めるアイテムを作れないかと模索中。羽織るだけでも効果はありますが、当社の優れた縫製技術でもっと素晴らしいグッズを作れるかも。

今回の地震後の社内の様子。本棚の転倒防止の突っ張り棒は設置していたものの、扉が開いて中の本が振るぞき落下。デスクの引き出しも同様な現象になりました。社員は棚の本の落下防止も考えていかなければ...

今後は実際の災害時により近い形で、告知のない訓練を実施して、もっと社員の防災意識を高めます。

カズマで使用している社員の安否確認サービス。震災5以上だと自動配信されます。安否の確認がとれない社員がいる場合は、各部門長が協力して検索するルールです。



### 廃棄される生地を使い、障がい者の方々と共に創り上げるアップサイクルプロダクトをご紹介します！

このプロダクトが多くの人の手に渡り、何かを「捨てる」行動の前に少し立ち止まり、「何かに使えないかな」と考えるきっかけになってもらえたら幸いです。

障がい者支援団体「タキティス」さんに生地耳の縫い合わせ作業を依頼。耳の縫製は手作業が得意な障がい者の方々の得意分野です。5分、小さなアップサイクラー1枚分の生地にもおよそ20個を縫い上げます。ももカズマさんには材料と道具の扱い方ひとつひとつも懇ろに教えてくださるので、毎回見るのが楽しみです。

このプロダクトのブランド名はmatec(マテック)。material(素材)+connect(つなぐ)の意味を込めました。障がい者には日本テキスタイルデザイン協会が主催する「mini-mini EXPO」に出展するためにグッズも作りました。日本メンバーで組み立てた力作です。

廃棄生地をつなげ、人を繋いで循環型社会の輪を広げたい

## EVENT

### 1/17公開中! 新素材リリース in Makuake

#### 自然素材100%のテキスタイルブランドから新素材「竹」と「大麻」をNEWリリース!!

自然素材のカーテンを扱うKURASIKUから、春にかけてクラウドファンディングサイトで2つの新素材がリリースされています。まず1/17(水)~3/17(日)公開の「竹-take」。竹は生命力が強く、水も農薬もいらずに3年で成木する植物で、究極のサステイナブル素材として近年注目されています。竹は繊維が短くカーテン用のテキスタイルにするのは非常に難しいのですが、綿と撚り合わせて糸にすることで肌ざわりの優しい風合いに仕上げました。

続けて2/20(火)~4/20(土)にリリースするのは「大麻-ooasa」。法律で禁止され薬物指定されている大麻とは品種も部位も異なる「ヘンプ」と呼ばれる素材です。昔から衣服や下駄の鼻緒などの日用品によく使われ日本人には馴染みのある身近な素材なのですが、近年は薬物を取り締まる法律によって生産農家は激減。大麻の糸すら入手困難で非常に貴重な素材となっています。カラー展開では稀染染にも挑戦したのでぜひご覧ください。

公開日	2024年1月17日(水)~3月17日(日)
販売場所	クラウドファンディングMakuake(マクアケ)
販売商品	自然素材100%カーテン「take(竹)」

公開日	2024年2月20日(火)~4月20日(土)
販売場所	クラウドファンディングMakuake(マクアケ)
販売商品	自然素材100%カーテン「ooasa(大麻)」

### 社内企画イベント ママ座談会 in カズマ

#### 福井は女性就業率全国1位!フルタイムで働くママたちのリアルを語る座談会を開催。

500人以上いる社員の5割以上が女性、社長だって子育て中のママというまさに共働き率全国NO.1の福井を象徴するような我が社。就職のある女性もたくさん活躍中。そんなママたちの仕事の質の向上を目的として、家事や子育てなど仕事と切り離せないテーマについて意見交換する座談会を開催しました。

参加メンバーはフルタイムで働くママばかり。「朝はパンを置いておだけ!夕食はおかずをのせて毎日どんぶりなど、リアルすぎるトークは、全国のママのストレスを解放してくれるかも(笑)詳細はぜひコラムをご覧ください!

大野さんが丸めお餅つき

### インスタ特別企画 ねことカーテンコンテスト in TateYoko

#### カーテン好きな猫たちが大集合。「#ねことカーテンフォトコンテスト」入賞5名様を発表!

10月に開催したInstagramキャンペーン、おかげ様でかわいい猫とカーテンをコラボさせた素敵な写真が沢山集まりました!今後も随時楽しい企画を開催予定。豪華なプレゼントをご用意しますので、皆さんぜひTateYokoのインスタをチェックしてくださいね。

猫ってホントにカーテン大好きですよ(笑)可愛すぎる♡

hachiiiiiiiさん  
dinglefairy919120さん  
shizukanakomorebiさん  
kaws\_yu23さん  
uru\_cat\_0126さん

### ミャンマー実習生と年始のお餅つき in カズマ

年始の仕事ははじめの日、昨年仲間入りしたミャンマー実習生を迎えて、食堂でお餅つきを開催。特でついたのは200名分、使った餅米はなんと一斗!(10升で約15kg)企画したメンバーだって餅つきは初めてで、結局1番上手だったのは日本人よりもミャンマー実習生でした(笑)「よいしょ」と掛け声もかけ合っていてみんな笑顔に♡

福井県産餅米のカガモチ、大野産醤油、三國産きな粉、大根は東家です採れたもの

### 編集後記

タッセルの裁断機がいったいどれだけの枚数の生地をカットできるのか、今までちゃんと検証なんてしたことがなかったんですが、やってみたらびっくり!こんなに切れるなんて「すごい機械があったんだ」と改めて感激しちゃいました。なんと疑問に思っていたことがタテヨコジャーナルの製作を通して答えが見つかった小さな発見があったりして毎号私自身が楽しんでます!

編集担当 なるみ  
写真は編集部1階1階です

TateYoko Journal 2024 SPRING  
株式会社カズマ 〒910-0123 福井市八重巻町105 0776-56-4006  
TateYoko creative shop

## LIVE

### 投稿者:自販事業部藤田部長

#### 目指せ365日!安全で安心な職場環境づくりは1日にしてならず

全社員が安心して働ける安全な職場環境づくりのために、カズマでは「職場3S」として、毎月各工程から選ばれた社員(=職場委員)による職場パトロールを行い、整理整頓の状態をチェックしています。また、ケガにつながるような設備メンテナンスも重要!設備が適正に作動しているか、設備保全担当者の指導に基づき、定期的にメンテナンス方法を学び、自主安全に努めています。

無災害記録簿を毎日更新している 東工場長

### 投稿者:OEM事業毛利さん

#### 毎週金曜日の就業後、社員が集まる本格ピラティスが開催されている

カズマには業務に直接関係ないけどすごい資格を持った人がいます。そのひとりがWEBプロモーション部の長谷川さん。「ピークピラティス・フル・サーティフィケーション」というピラティスのインストラクターで、その資格を活かして毎週金曜、就業後に食堂で教室を開いています。「体が軽くなる!毎回楽しみ」と話すのは、家庭に仕事と頑張っている女性陣。体のメンテナンスをする貴重な時間になっている様子です。より良い商品を生み出すためには欠かせない時間♡

社員の交流の場にもなっています  
インストラクター 長谷川さん

### 投稿者:管理部長細川さん

#### お客様からのクレームは食堂に展示して全社員が見て共有

時にできてしまうお客様からのクレームは、お客様からの大切なメッセージでもあります。それを製造に関わる全社員が共有できるように、返品された商品を食堂に提示。日々の生産活動の反省として生かしています。返品された商品と向き合うのはものづくりにおいて大切なことですが、それらに向き合っていく日々改善することを怠らないように心がけています。

また最近はお客さんからお客様の喜びや感謝の声をまとめた「VOICE」も食堂に提示しています。いつか食堂でVOICEだけで理められるように...

### 投稿者:自販事業部上田さん

#### 厚さ6cm 73枚の生地を瞬殺で切り落とす凄い裁断機がある

カーテンを束ねる時に使うタッセルを効率よく裁断するすごい機械。それが73枚の生地を一瞬で裁断する裁断機です。厚さ約6cmになるまで生地を積み重ねた上に金型を置き、10トンの圧力をかけて押し切れれば一瞬でタッセルの原型が完成♡リーズナブルな価格で商品をお届けするために、効率化も大切なんです。

なるほど! 生地に触れる面が刃物になるって!

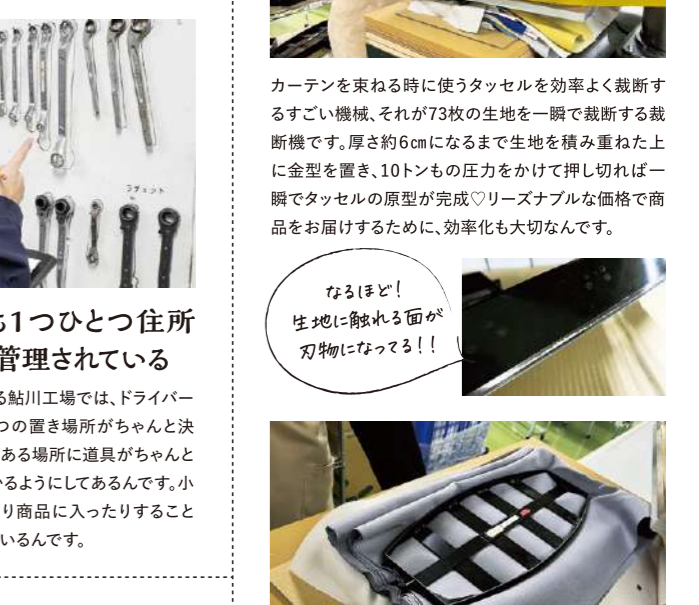
### 投稿者:工場長東さん

#### 歌うトロッコ列車がスタッフの作業効率を上げている

裁断工場には30分に1度長さ1メートルのトロッコ列車が回遊しています。この台車の走行時のメロディはただの音が、過去にドラクエや実在の曲を演奏して「仕事に集中できない!」仕事のペースが乱れるなど意見があり、試行錯誤の結果「世界でひとつだけの花」に変更したところメロディがなくなったのだから、スタッフの作業効率にも一役買っているんですね。

どんな小さな道具も1つひとつ住所が決まっていって徹底管理されている

編みレースの生地で作られている船川工場では、ドライバーやペンチなど共有工具1つひとつの置き場所がちゃんと決められています。週1で点検され、ある場所に道具がちゃんと戻っているか、全員が一目でわかるようにしてあるんです。小さな道具が機械に巻き込まれたり商品に入ったりすることがないように徹底して管理されているんです。



この列車、社内でAGVと呼ばれる最新鋭の台車。スタッフが最新鋭の生地を次々列車に乗せると、次の工程へと運んでくれます